



平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月14日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東  
 コード番号 5218 URL http://www.ohara-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 齋藤 弘和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中島 隆 (TEL) 042(772)2101  
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績 (平成29年11月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	20,461	13.2	2,441	114.2	2,702	74.7	2,423	92.3
29年10月期第3四半期	18,082	12.9	1,139	804.4	1,546	—	1,260	—

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 3,690百万円 (22.6%) 29年10月期第3四半期 3,010百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	99.61	—
29年10月期第3四半期	51.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	58,419	44,407	76.0
29年10月期	54,433	41,204	75.7

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 44,407百万円 29年10月期 41,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年10月期	—	0.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想 (平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	11.7	3,400	98.2	3,800	69.5	3,200	111.4	131.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年10月期3Q	25,450,000株	29年10月期	25,450,000株
30年10月期3Q	1,124,538株	29年10月期	1,124,538株
30年10月期3Q	24,325,462株	29年10月期3Q	24,325,462株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 30年10月期3Qにおける期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)」が保有する当社株式 (30年10月期3Q 71,100株、29年10月期71,100株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復が続きました。アジア地域では、中国経済は景気の持ち直しが見られ、その他の地域でも景気は緩やかに回復しました。米国経済は、個人消費や設備投資が増加したことなどから、景気は着実な回復が見られました。欧州経済は、設備投資の増加などを背景として、景気は緩やかに回復しました。日本経済は、個人消費の持ち直しや設備投資の緩やかな増加などから、景気は緩やかに回復しました。

当社グループの光事業の関連市場では、デジタルカメラはコンパクトタイプの需要減少が続いたものの、レンズ交換式タイプではミラーレスタイプの需要が伸長しました。一方、エレクトロニクス事業の関連市場では、露光装置はFPD向けの一部で弱めの動きが見られたものの、半導体向けは堅調を維持しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、極低膨張ガラスセラミックスの需要が減少したものの、光学機器用レンズ材や半導体露光装置向け高均質ガラスの需要が増加したほか、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム<sup>TM</sup>」の販売が進展したことなどから、20,461百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

損益面では、売上総利益は、原料価格の上昇や労務費の増加が見られたものの、生産性の改善に努めたことなどから、6,849百万円（同31.7%増）となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や研究開発費が増加したことなどにより、4,408百万円（同8.6%増）となり、営業利益は2,441百万円（同114.2%増）となりました。経常利益は、営業外収益として持分法による投資利益を計上したことなどにより、2,702百万円（同74.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、業績回復に伴い、繰延税金資産を見直したことなどにより、2,423百万円（同92.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 光事業

当事業の売上高は、特定用途向け新規開発硝材などの新製品やレンズ加工品の販売に努めたことから、12,998百万円（前年同期比14.5%増）となりました。損益面では、これらの販売が増加する中、生産性の改善に努めたことから、営業利益は1,176百万円（同141.4%増）となりました。

#### ② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、FPD露光装置や宇宙・天文向け極低膨張ガラスセラミックスの販売が減少したものの、半導体露光装置向け高均質ガラスの販売が増加したほか、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム<sup>TM</sup>」の販売が進展したことなどから、7,462百万円（前年同期比10.9%増）となりました。損益面では、製品構成が変化する中、生産性の改善に努めたことなどから、営業利益は1,265百万円（同93.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は58,419百万円(前連結会計年度末比7.3%増)となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したことや、たな卸資産が増加したことなどによるものであります。

流動資産の残高は31,015百万円(同7.3%増)となりました。これは、たな卸資産や現金及び預金が増加したことなどによるものであります。

固定資産の残高は27,403百万円(同7.3%増)となりました。これは、有形固定資産において、建設仮勘定が増加したほか、投資その他の資産において、投資有価証券が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は8,125百万円(同13.2%増)となりました。これは、短期借入金が増加した一方で、固定負債からの振替によりリース債務が増加したほか、支払手形及び買掛金が増加したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は5,885百万円(同2.7%減)となりました。これは、繰延税金負債が増加した一方で、リース債務や長期借入金が増加したことなどが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は44,407百万円(同7.8%増)となりました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成30年6月14日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,715,436	11,022,964
受取手形及び売掛金	6,207,260	6,288,235
電子記録債権	1,496,201	1,666,134
有価証券	—	100,000
商品及び製品	2,108,760	2,477,335
仕掛品	5,457,427	5,791,144
原材料及び貯蔵品	2,249,523	2,651,203
短期貸付金	—	35,000
繰延税金資産	336,817	638,535
その他	393,298	412,087
貸倒引当金	△65,675	△66,816
流動資産合計	28,899,051	31,015,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,300,392	13,348,720
減価償却累計額	△7,619,992	△7,941,203
建物及び構築物(純額)	5,680,399	5,407,517
機械装置及び運搬具	17,357,384	17,582,720
減価償却累計額	△13,642,833	△14,073,750
機械装置及び運搬具(純額)	3,714,551	3,508,969
工具、器具及び備品	11,120,695	11,149,488
減価償却累計額	△2,538,533	△2,598,504
工具、器具及び備品(純額)	8,582,162	8,550,984
土地	320,659	318,376
建設仮勘定	300,261	400,274
有形固定資産合計	18,598,034	18,186,122
無形固定資産	88,033	80,622
投資その他の資産		
投資有価証券	5,987,352	8,323,808
長期貸付金	275,000	206,000
退職給付に係る資産	124,398	136,138
繰延税金資産	132,496	121,179
その他	329,347	349,375
投資その他の資産合計	6,848,594	9,136,501
固定資産合計	25,534,662	27,403,246
資産合計	54,433,713	58,419,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,179,188	1,426,592
電子記録債務	780,118	826,190
短期借入金	2,697,479	2,483,544
リース債務	173,382	786,315
未払法人税等	174,633	402,457
賞与引当金	708,733	482,968
役員賞与引当金	99,205	72,443
環境対策引当金	18,500	49,198
未払金	1,014,327	1,006,866
その他	331,591	589,303
流動負債合計	7,177,159	8,125,880
固定負債		
長期借入金	1,846,236	1,752,372
リース債務	785,822	59,460
繰延税金負債	1,742,141	2,394,516
退職給付に係る負債	1,263,355	1,275,886
役員株式給付引当金	25,195	34,643
環境対策引当金	27,481	19,367
資産除去債務	100,618	89,837
その他	260,800	259,500
固定負債合計	6,051,652	5,885,586
負債合計	13,228,812	14,011,466
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,930,785
利益剰余金	25,741,171	27,676,330
自己株式	△1,488,935	△1,488,935
株主資本合計	38,038,021	39,973,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,648,140	4,203,097
繰延ヘッジ損益	—	3,035
為替換算調整勘定	1,175,498	817,769
退職給付に係る調整累計額	△656,758	△589,479
その他の包括利益累計額合計	3,166,880	4,434,422
純資産合計	41,204,901	44,407,603
負債純資産合計	54,433,713	58,419,069

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	18,082,577	20,461,013
売上原価	12,882,882	13,611,894
売上総利益	5,199,694	6,849,118
販売費及び一般管理費	4,060,068	4,408,040
営業利益	1,139,625	2,441,078
営業外収益		
受取利息	29,919	38,441
受取配当金	77,472	109,242
受取地代家賃	7,516	7,287
為替差益	200,032	8,007
持分法による投資利益	—	44,460
その他	126,737	86,437
営業外収益合計	441,678	293,877
営業外費用		
支払利息	23,529	20,144
固定資産除却損	2,746	10,989
持分法による投資損失	7,614	—
その他	630	1,320
営業外費用合計	34,519	32,455
経常利益	1,546,785	2,702,501
特別利益		
投資有価証券売却益	27,329	—
子会社清算益	9,299	—
特別利益合計	36,628	—
税金等調整前四半期純利益	1,583,413	2,702,501
法人税等	323,318	279,410
四半期純利益	1,260,094	2,423,090
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,260,094	2,423,090



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	1,260,094	2,423,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	526,108	1,554,956
繰延ヘッジ損益	—	3,035
為替換算調整勘定	1,035,780	△330,462
退職給付に係る調整額	72,836	67,279
持分法適用会社に対する持分相当額	115,689	△27,266
その他の包括利益合計	1,750,415	1,267,542
四半期包括利益	3,010,509	3,690,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,010,509	3,690,633

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	11,352,618	6,729,958	18,082,577
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,352,618	6,729,958	18,082,577
セグメント利益	487,148	652,476	1,139,625

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	12,998,427	7,462,585	20,461,013
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	12,998,427	7,462,585	20,461,013
セグメント利益	1,176,046	1,265,031	2,441,078

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。